

品質保証マネジメント

デンカグループは、合成樹脂や樹脂加工などの有機化学から、高機能粉体制御技術などを用いた無機化学、さらには細菌・ウイルスの培養や抗体・抗原作出技術などのバイオ分野まで幅広い製品を取り扱っています。これら多種多様な製品に対して、経営計画「Mission 2030」と連携した品質方針を定め、品質保証活動を展開しています。

品質方針(2026年度)

デンカグループは、重大品質事故ゼロ・不適切行為撲滅の確実な定着を最優先とし、研究・製造・外注委託・購買・デリバリー業務を含むバリューチェーン全体での品質リスク管理を強化する。組織風土改革と科学的アプローチ・デジタル技術の活用により、マーケットに信頼される製品・サービスを提供し、すべてのステークホルダーの信頼向上と新たな価値創造に貢献する。

経営計画「Mission 2030」の目標達成に向けて

【2025年度】

◇ 品質関連制度の設計

- デンカの品質保証の根幹をなす、品質保証ポリシー、品質コンプライアンス問題対応ガイドラインなど、品質制度の新規策定および改訂を実施。
- 上記制度の周知、確実な定着に向けた社内活動を推進。

◇ 監査・監視の強化

- 国内工場、事業部門、およびグループ会社(8社)の品質監査を実施し、品質保証機能が正常に機能していることを確認。
- 品質保証の堅牢化のため、改善、改良すべき仕組みにつき、順次ブラッシュアップを行う。

◇ 品質問題への確実な対応(製品安全・品質改善活動)

- 2023年に顕在化した品質不適切行為是正活動にて検知された品質問題について、すべて是正対応を完了した。以降は定常の品質保証活動の一環として、維持、改善に取り組む。

【2028年度 計画】

1. 品質マネジメントの推進と改善

- 2027年度までに策定することを計画した、品質保証制度の確実な整備、および業務への実装完了。

2. 安全・安定・高品質な製品およびサービスの提供

- 心理的安全性および品質文化定着度のモニタ項目につき、2025年度比で3項目以上の改善。

【2030年度 目標】

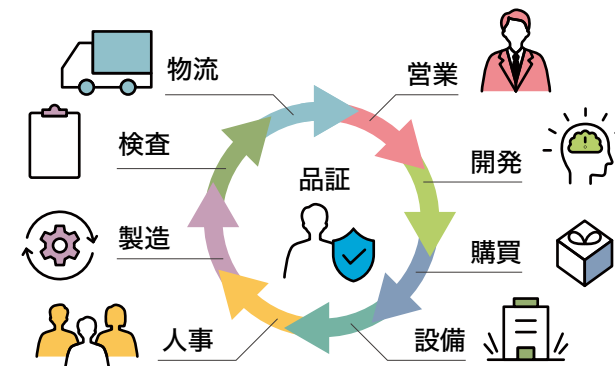
重大品質事故 発生件数ゼロ

(重大品質事故:危機
対策本部会議を伴
う品質事故)

品質保証マネジメント

1 品質向上/顧客満足向上への取り組み

市場からの品質要求事項や法規制など、各製品に求められる品質レベルは日進月歩で厳格化しています。これらへの取り組みとして、デザインレビューでの品質ゲート管理を計画的に実施しております。抽出された市場環境、製品設計、製造プロセスなどの課題に取り組み、ステークホルダーの皆さまからご評価いただける製品の提供を、関係者一丸となり推進しています。



2 化学物質管理/製品安全

化学物質に関する国内外の法規制（例：化審法/日本、REACH規則/EU）遵守を徹底しております。法の制定/改正に関する漏れない情報入手、社内イントラネットを活用した迅速な社内共有を実施。さらに、従業員への周知・理解の徹底を目的として、実務者目線での化学物質相談会を新設し、法規制遵守体制の一層の強化を図っています。



2026年2月開催 大牟田工場 化学物質相談会

3 経営層による品質懇談会の推進

2023年5月に顕在化した品質不適切行為の再発防止策として、経営層と現場の対話機会の充実を図っています。

〈経営層による懇談会〉

●タウンホールミーティング ●品質懇談会 ●意見交換会

これらの取り組みを通じて、現場の声を経営に的確に反映するとともに、心理的安全性の高い企業風土の醸成を推進しています。

4 品質コンプライアンス教育強化

品質コンプライアンス遵守強化のため、従業員に対し品質コンプライアンス教育を実施しています。今年度は新たに整備された社内教育システムSmartSkill Campusを活用し、本社およびグループ会社へのより確実な展開・浸透を図りました。今後も、教育コンテンツや配信方法の改善、教育プログラムの見直しを継続的に実施し、グループ全体でのコンプライアンス定着の一層の強化を図っていきます。



5 品質管理システム整備/管理レベルの高度化

お客さまからいただいた当社製品の品質等に関するご要望やご指摘事項については、品質改善につなげる「品質管理システム」および化学物質情報を管理する「化学物質管理システム」により、全社統一で管理しております。化学物質管理システムについては、2026年度にDXを活用したバージョンアップを予定しており、より正確かつ網羅的な管理の実現により、抜け漏れのない管理体制の強化を図ります。今後も管理レベルの高度化を進め、一層の品質向上と製品安全の確保を通じて、ステークホルダーの皆さまに信頼される製品およびサービスの提供に努めてまいります。